
ZHショートノベルス

雨鱒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ZHシヨートノベルス

【Nコード】

N8478Z

【作者名】

雨鱒

【あらすじ】

米花町がゾンビに支配された！ 町の人間の殆どがゾンビ化する中、コナンと蘭を含む生存者達はシッキングモールへ身を隠すが、そこへならず者が押し入り、更にゾンビ達までもが…。果たしてコナン達は生き残れるのか…。

悪夢の幕開け（前書き）

ゾンビ好きです。

悪夢の幕開け

夜が明け、米花町に朝日が登ろうとした。“眠りの小五郎”と呼ばれる毛利小五郎が住む「毛利探偵事務所」へ一人の人物が走らせていた。

事務所内へと通じる階段を上がりドアをドンドンと乱暴に叩き始めた。

室内では遅くまで酒を飲んで酔っ払って眠っていた小五郎がドアを叩く音に目を覚まし、

「うるせえなあ、誰だよ…」

二日酔いでガンガンする頭を抑えながら不機嫌そうにドアまで歩みノブを掴んで開ける。

「うるせえなあ！ 人ん家のドアを叩くんじゃねえよ！」

小五郎は無意味にドアを叩く人物に声を荒げる。

「ん、英理じゃねえか？」

ドアを叩いていたのは現在は別居中の身である妻の妃英理であった。「な…っ！」

小五郎は直ぐに自分の目の前に立っている英理は自分の知る妻でないことを理解した。

肌はどす黒く豹変し、目の瞳は白くなり口のまわりには血がベッタリと付いていたのだ。

「……」

小五郎が一步たじろいだ瞬間、英理は俊敏な動きで小五郎に組み付いて床に押し倒す否や喉に噛み付いたのだ。

「！」

小五郎は絶叫し、英理は小五郎の喉を噛み切った。

小五郎の絶叫に各自室で目を覚ました江戸川コナンと、娘の毛利蘭はこの悲鳴は決してただことではないことをいち早く理解し、玄関まで足を運ばせた。

「！」

二人は立ち止まって言葉を失った。自分達の目に映る光景は、父親を殺害した英理の姿であつた。

既に絶命している小五郎は喉から血を流しながらピクピクと蠢いている。

あまりのショッキングな光景に蘭は悲鳴を上げた。

蘭の悲鳴に英里は頭をクルリと二人の方に向け、腰を上げる否やコナンに襲いかかった。

「！」

蘭は近くにあつた靴置き棚を持ち上げて英里を殴打した。

英里は倒れ、

「コナン君、逃げるよ！」

蘭はコナンの手を引いて室内から脱出した。

悪夢の幕開け（後書き）

ゾンビ災害は恐ろしいねえ。

ゾンビからの逃走（前書き）

ロメロの『ゾンビ』怖かったな。

ゾンビからの逃走

外に出ると、コナンと蘭は目を疑った。

町では人が人を殺し合っているではないか。事態を収拾させようと駆け付けた警官達はゾンビの餌食になっていく。

これが地獄絵図という奴だろう。

ゾンビ達は不明瞭な咆哮を上げながらターゲットの矛先を二人に向けた。

コナンと蘭は走った。背後ではゾンビの群れが自分達を追いかけて来る。

微かにだが、その中には自分達の同級生や英里や死んだはずであった小五郎の姿が見える。

彼らに人としての理性はない。あるとすれば相手を殺害するという言わば殺害衝動だけだ。

逃げることに二人を追いかけてくるゾンビの数は増えている。

通常ならばこの日は休日で、家でのんびりしたりしていたが、自分の父親と母親が凶悪なゾンビ化し、自分達を殺そうとしている。

コナンと蘭は死に狂う思いで足を走らせた。

「おい！」

遠くからであるが、男女二人が自分達を呼んでいる。見覚えのある顔だ。

その二人は米花警察署に勤める高木刑事と佐藤刑事であった。

「早くこっちへ来るんだー！」

コナンと蘭は二人のところまでたどり着くと、「早く乗って！」と佐藤刑事から指示され、高木刑事の愛車である日産スカイラインの後部座席に乗り込む。

高木刑事が運転席に座り、佐藤刑事が助手席に乗り込むと、高木刑事はエンジンキーを差し込みマフラーを吹かすと、アクセルを踏んだ。コナンと蘭は二人に助けられたのだ。絶体絶命なところを助け

てくれた二人に礼を言った。

後ろからはゾンビの姿が見えるが、車の速さは本物であり、次第にゾンビ達から遠ざかっていったのであった…。

ゾンビからの逃走（後書き）

『ゾンビランド』面白そう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8478z/>

ZHショートノベルス

2011年12月26日20時46分発行